

みずえだに新聞

Vol. 7
2014年4月
春号



の研究グループは、世界で初めてiPS細胞から、歯の最も硬い部分

院長のささやき

歯科における再生医療



メディアは例の理化学研究所の「STAP細胞」の話で持ちきりです。ちょっと前には京都大学の山中教授の「iPS細胞」について論文が発表された事も記憶に新しいかと思えます。STAP細胞に関しましては今や論文の不備やデータの捏造などで存在自体がはっきりしません。現段階では存在するものと仮定して話をさせて頂きたいと思えます。

組織を作ることが出来るという事で再生医療への応用が大きい期待されています。歯科に於いても期待は大きく、例えばこの細胞から歯を再生し、虫歯や歯周病などで失ったところにその歯を移植してあげれば、今までの自分の歯と同様に噛めるようになるし、また審美的にも回復できるというわけです。

しかしながらそのような希望が叶うまでにはまだ時間がかかりそうです。現段階では、まだ歯全体を作るまでには至っていません。東北大学院歯学研究科の福本敏教授（小児歯科）

「エナメル質」のもととなる細胞をつくることに成功したと発表しました。

また産業技術総合研究所は親知らずのもとになる「歯胚」の細胞から、iPS細胞を作ること成功したとの事です。通常使われる皮膚の細胞から作るよりも100倍以上効率がよく、できたiPS細胞から腸や軟骨、神経、心筋の細胞が出来ること確認できたとの事。抜歯された親知らずの歯胚組織から安全なiPS細胞を効率よく作れたという事実は今後の再生医療へ大きく貢献していくものと思われれます。ただ、自分の細胞から自分の体の一部を再生するということが、人が踏み込んでよい領域かどうか、間違いなく意見が分かれるところでしょう。

審美歯科学会参加

IN 京都

京都は久しぶりでしたので、清水寺、金閣寺、銀閣寺など少し観光地にも足を運んでみました。やっぱり綺麗ですねえ。



金閣寺、この荘厳たる姿。素晴らしいですね！

こちらは日本三景の一つ、天橋立です。本当に絶景ですよ。近くに三三三寄れば文殊の知恵（知恩院本堂）もありました。



雪の銀閣です！
洗い佇まいがこれまた風情ありますねえ！



最新医療情報

保険点数改正について

平成26年4月1日をもちまして変化したことが歯科に於いて二つあります。一つは保険点数の改正で、もう一つは消費税率のアップです。保険点数の改正についてですが、これは二年に一度必ず改正されるもので、その時の物価や人件費の変動に対応していくために行われます。

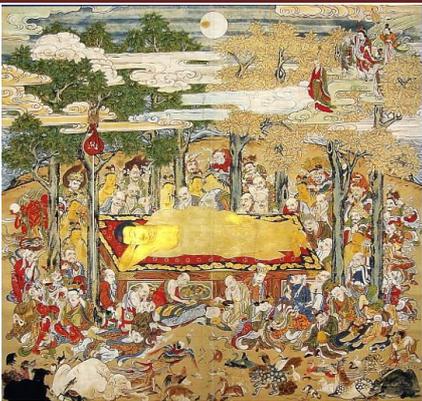
今回の改正の骨子は次の通りです。

- ①がん医療、認知症対策など、国民が安心して生活することが出来るために必要な分野を充実して行く。
- ②患者等から見てわかりやすく納得でき、安心・安全で質の高い医療を実現する視点。
- ③医療費は国民の保険料、公費、患者の負担を財源としており、厳しい医療保険財政の下、効率化余地のある分野は適正化していく。

などとなっています。つまり、今後の超少子高齢社会においても必要な医療は、保険診療で行われるべきという基本理念の下、国民皆保険を堅持し、国民の健康を守っていく必要があるという基本認識の下の厚生労働省の方針であります。若干の患者負担の増加があったりしますが、これもこのような目的を達成するためのものでありますので、医療機関、患者双方が理解した上で、よりよい医療を提供されるべく努力していく必要があるかと思えます。

医学 豆知識

「投薬」の名の由来



涅槃図

投薬という言葉の語源

には仏教的意味が込められているのだそうです。それは釈迦入滅を描いた涅槃図に示されています。お釈迦様が沙羅双樹の樹のもとで入滅される時、我が子の急を知った麻耶夫人が駆けつけ薬を届けようと天上からお釈迦様が投げてくれた薬を樹の木の枝に引っかけてしまい、お釈迦様に届

きませんでした。弟子達

動物達、沙羅双樹の樹まが嘆き悲しむ中、薬の引つかかった沙羅双樹が青々と茂っていきました。この仏教的故事から投与、投薬という言葉が生まれ用いられるようになったという事です。「投」という文字には、病に伏した我が子を救おうとする母の愛が込められているのです



3月29日(土)、

今年も恒例の花見大会を開催しました。当初は次の週の4月の始めを予定していたのですが、今年は開花が早まり、急遽変更して行いました。ところが生憎の雨模様。それでも満開の桜に囲まれてのご馳走にビール。最高でした。



恒例 花見大会

IN 千年団地

桜をバックに、テントでの宴会となりました



ランニング桜島参加

衛生士 五反分裂菜
ごたんぷりな



ゴールの瞬間です！
おめでとう！



去る2月23日(日)
第34回ランニング
桜島大会が開催され

本院スタッフの五反分さんが参加しました。本人談「昨年フルマラソンに挑戦するも完走出来ず、そこでハーフに挑戦。当日は天気も良く、海沿いのコースでもとても気持ち良く走れました。最後はへろへろゴールでしたが、ゴールすると達成感もあり、体中痛かったけど最高の気分でした。たくさんさんの声援も受け感動の一日でした。」

新入スタッフ紹介

よろしくお願ひします！

おおしげかよ
大重芳代

(歯科衛生士)



3月から新たに本院の一人として加わった歯科衛生士さんです。院長とは勤務医時代に一緒に働いていた経緯もあるんですよ。



長年このみずえだに歯科で働いてくれた受付の赤塚さん(旧姓久保下)がこの3月をもちまして退職することになりました。本当に今まで有難うございました。これからも元気で頑張つて下さいね。

また逆に上記の大重さんは新たにメンバーに加わってくれました。これからよろしくお願ひしますね。



副院長
大重さん

歓送迎会

3月誕生会



3月誕生日は、副院長と新スタッフの大重さんでした。歓送迎会と誕生会を兼ねて照国神社近くの「インザムーン」のお店で3月27日、みんなで楽しく騒ぎました。美味しかったです。



お知らせ

★この4月から消費税が8%に引き上げられました。

そこで本院におきましても、自費診療における料金などは増税分だけの値上げとなります。また一部の歯ブラシ、歯磨剤などの販売品におきましても同様です。何分、ご了承の程よろしくお願ひ致します。

★医療情報のコーナーでも触れましたが4月から保険点数が改正されました。同じ治療をしましてもこれまでとは若干、お支払い金額などに差異が生じる場合があります。

幸恵先生の 歯のはなし



全国の20代〜60代の男女10000名を対象に「異性の印象と歯に関する意識調査」が行われました。その結果、異性の第一印象において、きれいでないのがっかりする部位は「口元（歯を含む）」43.4%で第一位。また、配偶者・恋人の身だしなみについても、きれいでないのがっかりする部位を聞いたところ、一位が「髪」47.4%、次いで僅差で「口元（歯を含む）」43.0%という結果となりました。

性別で見ると、男性は「髪」と回答した人が最も多く、次いで「口元（歯を含む）」、「肌」の順でした。女性では「口元（歯を含む）」と回答した人が最も多く、次いで「髪」、「肌」の順となっており、男性35.0%、女性51.8%が「口元（歯を含む）」がきれいでないのがっかりする、と回答しています。

第一印象だけでなく親しい間柄においても、「口元」のきれいさは重要であり、女性においては、異性の口元がきれいでないのがっかりすることが判明しました。

具体的に「異性の口元で気になるポイント」を聞いたところ、一位が「口臭」で61.0%、二位が「歯の黄ばみ・着色汚れ」で51.2%となり、男女別に見ても、男女共に「口臭」が



トップという結果に。また、「自分の口元について気になる」のは、男女共に「口臭」がトップで（男性56.8%、女性55.4%）、次いで「歯の黄ばみ・着色汚れ」

（男性44.8%、女性54.4%）となっており、自分で気になる点が異性にも気になるポイントであるという結果となりました。

多くの人が気にしているお口のニオイの最大の原因はプラーク（歯垢）。歯ブラシによる歯磨きでは取り残しが出るが多く、しっかりと除去するためにはデンタルフロスや歯間ブラシなど補助用具でのケアが必要です。次に気になる人の多かった「歯の黄ばみ・着色汚れ（ステイン）」。これらは、食べ物などの色素が表面に付着して出来るものです。色の濃い食品である「コーヒー」や「ワイン」がステインが付着しやすいことは



ご存じの方も多いのですが、「チョコレート」や「リンゴ」、「バナナ」といった果物や、「大豆」製品もステインが付着しやすい食品です。プラークやステインを除去するためには、日常のブラッシングにプラスして行うクリーニングがオススメです。通常のブラッシングでは落ちない汚れを定期的なクリーニングできちんと落とし、歯の表面を滑らかにすることで、口臭予防や着色汚れが付きにくい歯になります。新学期や新年度を是非きれいな歯と息でお過ごし下さい。

診療台 増えま〜す！



この4月より、診療台を一台増設する事に相成りました。これまで皆様には待ち時間が長くなったりして非常に迷惑をお掛けしておりましたが、これからは少しでも待ち時間の短縮に役立つと思います。しかし時間短縮だけが全てではありません。あくまで丁寧で確実な診療を心掛けて行くつもりでおります。

イルミネーション

新しくなりました

編集後記

今回は新年号（1月発行）以来の発行となりまして、随分ご無沙汰したような感じがしています。昨年までは一枚（2ページ）の紙面でしたが、新年号で4ページの記事を掲載しましたところ好評でしたので、なるべくご希望に添えられるよう頑張っていきたいと思っております。皆様から記事の内容につきましてご意見ご要望ございましたら、遠慮なくお申し付け頂ければと思います。



得意絶頂のときこそ

隙ができることを知れ。

～徳川家康

有頂天になっている自分に気付き、そんな時こそ、気を引き締めましょう。

今回の

言葉